

福島大学

行政政策学類

キャリア教養学科

Q. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

短期大学の入学試験を受験する時から考えていました。高校 3 年生の時に大学受験に失敗してしまい、担任の先生に編入学の道があることを教えていただいたからです。

Q. 編入までのプロセスを具体的に教えてください。ガイダンスはいつ、どのような内容ですか。

入学式の日先生方に「編入したい」ことを伝えて、どのように勉強すればよいのかを教えてもらい、コツコツ実践していました。また、1 年生の後期からスタートするキャリア教養特講にて「編入とはどのようなものか」や、効果的な勉強法などを学んだり、実際に合格した先輩方からアドバイスをいただいたりしていました。

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

1年生の後期からキャリア教養特講の授業が始まりました。グループディスカッションを通して、多角的に課題を発見する力を身につけました。また、小論文の書き方や研究テーマの焦点化の方法を学び、小論文の意見論述力がつき、編入後の研究をどのように進めていくのかを決めることができました。授業の他には、三瓶先生に小論文の過去問題を添削していただき、高橋先生に英語の過去問題や英語問題集の添削をお願いしていました。

Q. 編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

英語に一番力を入れていました。1 年生の後期から高橋先生の研究室に通い、添削をお願いしていました。「やっておきたい英語長文 500」を 2 周したり、過去問題を解いたりして長文に慣れるようにしていました。また単語力をつけるために「英単語フォークキルズ 1800」と「英検準 1 級でる順パス単」を見たり、英語アプリで勉強したりして隙間時間を有効活用していました。

Q. 聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

グループディスカッションが一番力になったと思います。私は、自分の意見を述べることや文章構成をすることが苦手だったので、小論文が弱点だと感じていました。しかし、キャリア教養特講やその他の授業でのディスカッションのおかげで、相手にわかりやすく自身の意見を述べる力がついたと思います。

Q. 先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

・特別研究に力をいれること→研究の方向性が決まっていなると志望大学や学部を決めることができません。また、志願理由書作成や面接対策は特別研究が進んでいないと全くできないからです。

・経験ケチになる→地域活動に積極的に参加するとよいと聞き、地域形成論の授業で紹介された学生消防団に入団しました。そのおかげで、消防団の知識が付き学外の方と交流することができました。さらには論文のテーマにもなり編入試験での自己PRにも役立ちました。

・夏休み期間は短大に来る→過去の先輩は夏休み中に編入仲間と連絡を取り合わず、どんどん孤独になって気持ちが不安定になると聞いていたので、なるべく短大に来て、先生方や編入仲間と勉強をしたり話をしたりして、メンタルブレイクしないようにしていました。私は家では全く勉強できないタイプだったので、夏休み期間中に短大で勉強して本当に良かったと思います。

Q. ①大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学時（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格した時の気持ちを教えてください。

① 切り替えて頑張るぞ！

② 少人数制・グループワークが多いから「集中できるし授業が楽しいな」

③ 「自分ならできる。絶対合格できる！」と言い聞かせていました。

④ 「絶対落ちた」と思ったので、とりあえず寝て「明日から就活頑張ろう」と思っていました。

Q. これから聖母短大に入学する、または聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

自分の思い通りにいなくてモチベーションが下がったり、心が折れそうになったりすることもあるかと思います。その時には「なぜ編入学をしたいと思ったのか」という原点に立ち戻って、自分の想いを最後まで貫いてほしいです。また、先生や職員の方が手厚くサポートしてくれます。困ったときには自分で抱え込まないで、積極的にアドバイスを求めていくことをお勧めします。